聖徳大学・聖徳大学短期大学部 ビジネス・フィールド・リンケージ® 2026年度第1号（5月15日発行）

「聖徳BFL副専攻プログラム」の魅力を伝える

BFLゼミ通信

「聖徳ビジネス・フィールド・リンケージ（BFL）副専攻プログラム」は、聖徳大学・短期大学の学生が学科での学びを通して得られる専門知識やスキルを実社会で効果的に活用・実践できるよう組み立てられています。ビジネス社会の各領域で実績のあるスペシャリストが具体的な事例を示しながら分かりやすくていねいに指導します。

今回は、7つの学科で学ぶゼミ生がBFLにどんな魅力を感じているかの手記、そして、4月25日に開催されたBFLオープンセミナーの受講レポート、今後のセミナーの開催予定などを紹介します。

01 ゼミメンバー7名がBFL科目の受講の魅力を語る

BFLの学びで見つける新しい自分

心理学科2年 梁取瑠奈



私は入学前に大学のパンフレットからBFLを知り、学部や学科を超えて学べる点に惹かれて、数多くある科目の中から「ビジネス・コミュニケーション・スキル」という科目を履修しました。

この科目では、大学生活だけでなく社会に出た時に役立つコミュニケーションの方法について学びました。授業を通して他学部・他学科の学生とグループワークに取り組むことや、みんなの前で発表する機会も多く設けられていました。私はもともと人前で話すことが苦手だったため、履修前は不安がありました。しかし、グループワークで様々な視点や考えを持った学生とコミュニケーションをとる中で、どんな影響を相手に与えるか実感しながら楽しく学ぶことができ、自分の言葉を相手に届ける大切さに気付くことができました。また専門科目とは違い、ただ知識を得るだけでなく、自分自身の意識や行動にも変化が生まれて自信につながったと感じています。

BFLでの学びを通じて自分の気づきや成長を感じるとともに、社会に出た時にこの学びが活きていくと思っています。少しでも興味のある方は受講してみませんか？

将来に繋がる”視野”と”自分軸”を見つけた！

人間栄養学科 新藤那美



私は、高校生の時にBFLプログラムの存在を知り、あるBFL科目に興味を持ちました。

入学直後はタイミングが合わずその科目は受講できませんでしたが、他にも役に立ちそうなBFL科目があると聞き、1年次は春学期・秋学期合わせて4科目受講しました。

受講した科目の分野は「メディア」や「ビジネス」など、学科の学びとは関係なさそうなものばかりです。しかし、実際にBFLを受講して、少しずつ視野が広がっていると感じています。知識を入れるだけでなく、学生同士の話し合いも多くあるので、刺激を受けると同時に自分の価値観を見直すきっかけにもなりました。

また、BFLを受講する前は、周りの意見に合わせがちでしたが、最近は、自分の考えを持てるようになってきました。現在、2年生ですが、BFLの学びをもっと深めたいと思い、副専攻の認定取得に向けて頑張っているところです。

将来、この学びがどのように仕事と結びつくのかまだよく分かりませんが、学科の知識とBFLで学んだことはきっと活かせるだろうと感じています。

BFLに少しでも興味が湧いたら、一歩踏み出して受講を検討してください。

BFLゼミ通信



学部の学びに加えてビジネスも学べる！　音楽学科2年　保科笑優

私は高校生の頃に参加したオープンキャンパスでBFLを知り、専門の音楽に加えてビジネスも学べる点に魅力を感じて入学を決めました。

BFL科目を受講する前は学科の仲間との関わりが中心で、他学科の学生と話す機会は多くありませんでしたが、BFLでは他分野の学生と一緒に学ぶため、人とのつながりが一気に広がりました。総合大学の魅力である「多様な価値観に触れること」を実感できる場だと感じています。

BFLの授業では、ビジネスマナーやコミュニケーションの基本など、社会に出たときに役立つ基本スキルを学ぶことができました。これらの学びは、将来どんな場面でも生きてくると感じています。さらに、秋学期に履修した自由研究ゼミでは、実際にイベントの企画や運営に携わり、授業で学んだことを実践する機会がありました。進路はまだ模索中ですが、他分野の学生と話す機会が増えたことで視野が広がり、将来をより柔軟に考えられるようになっています。

学部の学びにプラスして、皆さんもBFLを通して新しい可能性や出会いを広げてみませんか？



BFLで見つけた社会福祉との関わり方　社会福祉学科2年　島田知佳

私はBFLで起業やビジネスコミュニケーションの授業を受講しました。私がBFLを知ったきっかけはオープンキャンパスでした。その時は「ビジネスも学べるんだ、でも福祉とは関係ないからなー」と他人事のように考えていました。しかし、試しにBFL科目を受講してみると社会人として必要不可欠な主体性や課題発見力、ビジネスマナーなど多くのスキルを身に付けることができ、自分自身が人として成長できたことを強く実感しました。



また、社会福祉は将来さまざまな分野と連携して仕事することが多いため、BFLで他学科の方々との交流を通して、他分野との関わり方を学ぶことができたのはとても強みになっていると感じます。

今後成長していくきっかけになりますから、興味のあるBFL科目をぜひ受講してみてください。



教員を目指す人にもBFLの履修が不可欠！　教育学科2年　伊澤唯衣

私は入学後に初めてBFLを知りました。最初のころはそれほど関心がなかったのですが、現役アナウンサーによる「人間関係のプロになるための講義」に魅力を感じ、1年次に「ビジネス・コミュニケーション・スキル」を履修しました。

2026年度5月以降のBFLオープンセミナー予定

☆05/24(日)「ビジネスで使える実践AI講座～短時間で見栄えの良いパワポスライドをつくるワザ」
川口泰司 先生：DX推進＆AI活用の専門家、ネットラーニング系企業の経営陣、特命BFL教授

☆ 06/21(日)「親子で考えよう：近未来創造とキャリア形成について」
井上慶子 先生：大手就職支援会社にて支社長などを経て、新規事業創出を担当、特命BFL教授

☆ 07/11(土)「学生やフリーランスの税金の基礎知識と節税のポイントを知ろう」
原田聡 先生：日本最大手の会計事務所での勤務を経て税理士・公認会計士事務所を開設して独立

☆ 09/26(土)「生成AIを活用してExcelでのデータ・業務分析を効率化する方法を学ぼう」
熊谷基継 先生：プログラミング教育コンテンツ＆Webアプリ開発の専門家、特命BFL教授

授業では、毎回アイスブレイク(周りの人たちと気楽に話す時間)があり、他学科の学生と話す機会が多くありました。この経験から、円滑なコミュニケーションをするための力を養うことができ、教員を目指す私にとって、信頼関係を築いていく重要なスキルを学ぶことができました。

現在は、「BFL(ビジネス・フィールド・リンケージ)原論」を履修しています。BFLの意義や効果について学んでおり、その中でBFLの魅力を改めて実感しています。今後は、教育学科の学びに加え、BFL科目を積極的に履修し、ビジネスと教育をかけ合わせた実践的な力を身につけていきたいと考えています。



BFLは、実社会で活躍する多様な経歴をもつ先生方が、分かりやすく授業をしてくださいます。所属学科だけでは出会えない先生方から学べるところも大きな魅力です。ご自分の近未来を切り拓くために、BFL科目の履修をぜひ検討してみてください。

「やってみたい」を、社会につながる学びへ

児童学科4年　鴻丸夏海



私は、オープンキャンパスでBFLについて知り、興味をもって2年次から受講を始めました。

児童学科に所属する私にとって、BFLでの学びは専門科目の理解を深めるだけでなく、その内容を他者に分かりやすく伝える力の向上にもつながりました。

特に、ゼミ内で取り組んだ松戸市主催のビジネスプランコンテストへの参加は印象深い経験です。異なる学科の学生と協働し、「子どもの知性」をテーマとした提案を行いました。受賞には至りませんでしたが、幼児教育関係の会社の代表の方から高く評価していただき、今後の可能性を感じる貴重な機会となりました。

このように、学科の学びに多様な視点を取り入れることで、社会課題の解決にもつなげられることを実感しています。現在私は、「ビジネス・データサイエンス副専攻」の取得を目指し、学習に励んでいます。

BFL科目の履修が皆さんの新たな挑戦への一歩となることを願っています！

BFLの履修で見識を広げよう！

文学科4年　三好渚彩



私は、入学してからBFLプログラムについて知りました。専攻科目以外にビジネスについて学べる機会があることに興味をもち、1年生の春学期からBFL科目を履修しています。

☆ **10/17(土)「ポップカルチャーによる地域創生のマーケティング」**
三浦俊彦 先生:中央大学商学部教授、マーケティング＆消費者行動関係の著書を多数執筆

☆ **11/14(土)「起業について学び、キャリア形成に繋げよう」**
荒木真喜子 先生:企業経営者、中小企業診断士、松戸スタートアップオフィスのアドバイザー、特命BFL教授

☆ **12/05(土)「海外で働く・生活するために知っておくべきことは？」**
佐々木亮太 & 宏美 先生:アミューズメント&スポーツの大手企業のヨーロッパ本部(英国)に6年間駐在

※1　各セミナーのタイトルは講師等の都合で変更される場合があります。
※2　5/24と6/21はオープンキャンパスにて13:00～14:30の開催です。

BFLは学べる分野が広く、興味を持った科目を自由に履修することができます。多くのBFL科目で他学科の学生と一緒のグループワークが行われています。専攻科目では思いつかない発想や意見に触れることで、自分の見識が広がりました。また、自分の専攻科目を履修しているからこそ思いつく発想や意見を発信することで、復習や更なる理解へ繋がることが多く、自分の成長に大きな影響を受けたと感じています。

専攻科目だけでなく、BFLを履修することでしか得ることのできない経験やスキルが多くあります。興味があれば、ぜひ履修してみてください！

02 BFLオープンセミナー（4月25日）受講レポート

『プロが教えるPowerPointスライド術』　人間栄養学科2年　坂本七海



4月25日（土）4限に開催されたBFLオープンセミナー「洗練されたスライドで差をつけよう！プロが教えるPowerPointスライド術」の内容について報告します。講師は特命BFL教授の川口泰司先生です。

本セミナーでは、プレゼンテーションを効果的に行うための基本要素や、伝わりやすいスライド作成のポイントについて、具体例を交えながら分かりやすく解説していただきました。

プレゼンテーションは、「ストーリー」「言語情報」「非言語情報」「視覚情報」の4つの要素から構成されており、これらを組み合わせることで、より伝わりやすい発表になることを学びました。特に印象に残ったのは、視覚情報の重要性です。人はまず視覚から情報を認識するため、スライドの見せ方が理解に大きく影響することが分かりました。強調や囲み、矢印などを用いて注目してほしい部分を明確にしたり、図を用いて関係性や構造を示したりすることで、内容を直感的に伝えることができると感じました。

また、スライドはあくまで発表を補助するものであり、文字を多く詰め込みすぎないことが重要であると学びました。図や写真には明確な役割を持たせ、説明と近い位置に配置することで理解を助ける工夫が重要だと感じました。



今回のセミナーを通して、PowerPointは資料作成ツールだけでなく、伝え方そのものに大きく関わる重要な手段であると実感しました。今後は、今回学んだ内容を活かし、限られた時間の中でも分かりやすく伝えられるスライド作成を意識していきたいと思います。

2026年度「BFLゼミ通信」第1号

発行日：2026年5月15日　　発行元：「BFL近未来創造ゼミ」

発行人：石井清人

編集担当：「BFL近未来創造ゼミ」BFL通信制作チーム、石井清人、浅岡伴夫

原稿執筆：梁取瑠奈、新藤那美、保科笑優、島田知佳、伊澤唯衣、鴻丸夏海、三好渚彩、坂本七海

写真撮影：寺田ゆり

デザイン・レイアウト：富田佳暖、髙瀬結生、中村愛理、遠藤友奈、橋本愛花